

旭化成グリーンボンド

2019年度からの3カ年の中期経営計画「Cs+（シーズプラス） for Tomorrow 2021」では、「サステナビリティ」を経営の重点要素と位置づけ、Care for Earthのキーワードの下、さらに取り組みを加速しているところです。その中で、当社は再生可能エネルギーの長期的な活用に向け、宮崎県延岡地区の工場群に電力を供給している水力発電所設備の更新と能力向上を実施しています。再生可能エネルギーは、地球環境改善に資するものであることから、地球環境に対する当社の姿勢をより明確に示すために、この度、工事資金をグリーンボンドの発行により調達しました。

本グリーンボンドは、当社が所有する五ヶ瀬川発電所および馬見原発電所、二カ所の水力発電所の改修工事を資金使途としています。

当社は現在、大正時代に建設した水力発電所による電気を当社延岡地区の工場群へ送電し、事業活動に活用しています。今回の改修工事は、老朽化および耐震性の点から、寿命が到来しつつある水力発電設備を更新し、あわせて高効率化することにより、今後数十年から百年に亘る、再生可能エネルギーの更なる利用を実現するものです。当社は、これからもクリーンなエネルギーの積極的活用を継続することで、自然環境に配慮した事業活動をおこない、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



五ヶ瀬川発電所全景

旭化成グリーンボンド（概要）

名称	旭化成株式会社第 13 回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)
発行日	2020 年 6 月 19 日
条件決定日	2020 年 6 月 12 日
発行年限	5 年
発行額	100 億円
資金使途	全額を当社が所有する水力発電設備の改修工事資金の一部に充当予定 <u>旭化成延岡地区における水力発電所改修について</u>
プレスリリース	<u>旭化成グリーンボンド発行に関するお知らせ</u> <u>第 13 回、第 14 回、第 15 回無担保社債(社債間限定同順位特約付)の発行に関するお知らせ</u>
社債格付	株式会社格付投資情報センター AA- 株式会社日本格付研究所 AA

適合性に関する第三者評価等

・セカンドパーティ・オピニオン

グリーンボンドの発行にあたって、国際資本市場協会（ICMA）のグリーンボンドガイドラインに即した「旭化成グリーン・ボンド・フレームワーク」を策定しました。

グリーンボンドの適合性評価については、国際資本市場協会（ICMA）による「グリーンボンド原則 2018」および環境省「グリーンボンドガイドライン 2020 年度版」に適合している旨、第三者機関である Sustainalytics から適合性に関するセカンドパーティ・オピニオンを取得しています。

Sustainalytics によるセカンドパーティ・オピニオン:

[日本語](#)

[英語](#)

・環境省 2019(平成 31)年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業

本社債の発行にあたって第三者評価を取得することに関し、環境省の平成 30 年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業の補助金交付対象となっています。

[グリーンボンド発行促進プラットフォーム 交付決定通知一覧](#)

投資表明投資家一覧（五十音順）

株式会社愛知銀行

アセットマネジメント One 株式会社

株式会社岩手銀行

株式会社大分銀行

株式会社七十七銀行

しなのめ信用金庫

株式会社十六銀行

住友生命保険相互会社

大東京信用組合

高山信用金庫

東京海上アセットマネジメント株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

学校法人同志社

東濃信用金庫

トーア再保険株式会社

学校法人中村産業学園

日本生命保険相互会社

延岡信用金庫

飯能信用金庫

株式会社東日本銀行

福島信用金庫

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社

株式会社宮崎太陽銀行

レポートニング

旭化成グリーンボンドに関する資金充当状況と環境改善効果については、最新の年次レポートニングをご覧ください。